

TORCH T01 ユーザーガイド



このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、鍵盤や外装が木材由来の素材で作られた電子ピアノです。

木のぬくもりを感じながら、演奏したり曲を聴いたりしてお楽しみください。

製品に付属の「クイックガイド」と「セーフティーガイド」は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

また、ご使用前に、必ず「セーフティーガイド」をよくお読みください。

本書の記載内容に関するお知らせ

- 文中の用語に下線がある場合は、そこをクリックまたはタップすると、その用語に関連する本書内の説明やウェブページにジャンプします。
- 本書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。製品の鍵盤はすべて黒色ですが、本書内の説明では、鍵盤の色を変えています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Lightning は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



- MIDI は一般社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

目次

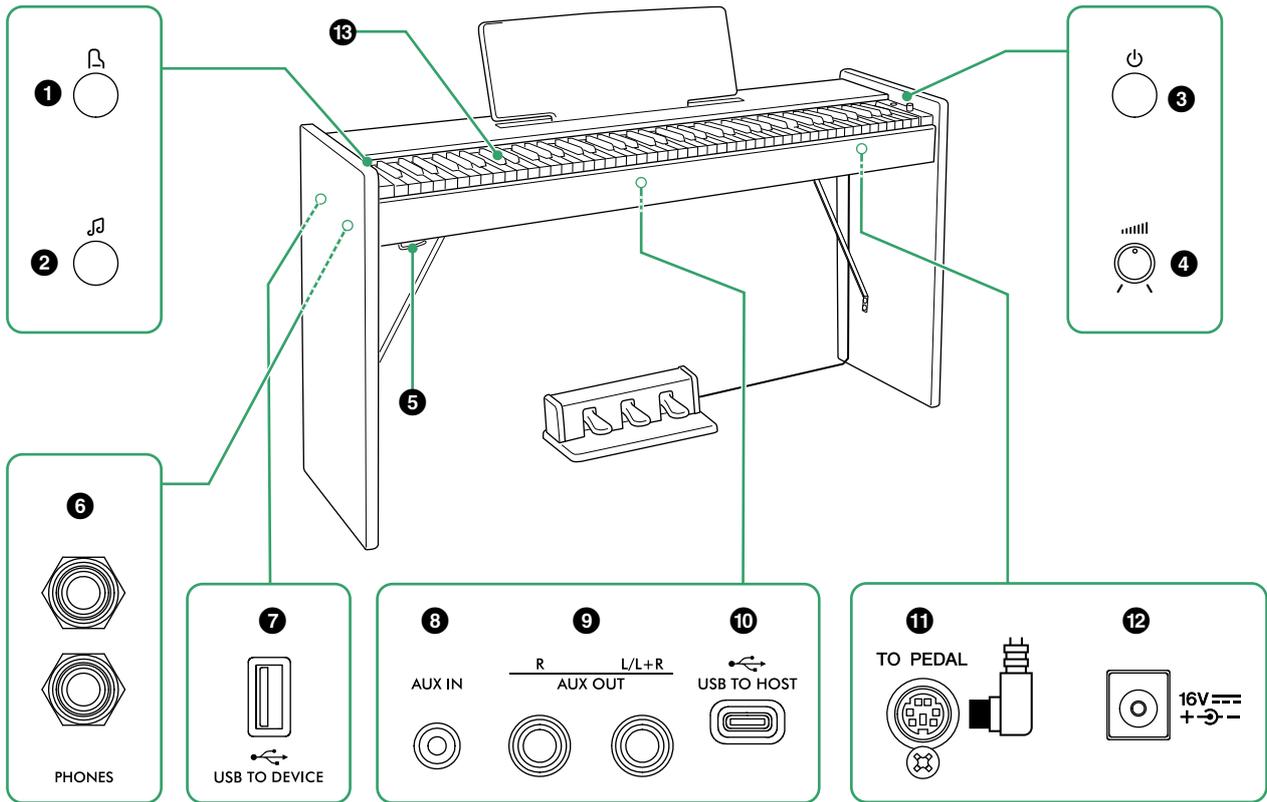
説明書について	2	オーディオ機器での再生音を楽器から鳴らす	20
各部の名称と機能	3	Bluetoothで接続する (Bluetooth オーディオ機能)	20
ご使用前の準備	5	オーディオ接続ケーブルを使って接続する ([AUX IN] 端子)	22
電源アダプターを接続する	5	USBケーブルを使って接続する ([USB TO HOST] 端子)	22
電源を入れる / 切る	5	コンピューターと通信する	23
音量を調節する	6	オーディオループバックのオン / オフを切り替える	23
ペダルユニットを使う	7	楽器の音を外部スピーカーから鳴らす	24
ヘッドホンを使う	8	楽器を初期化する	25
スピーカーの設定をする	9	楽器のバージョンを確認する	25
操作音のオン / オフを切り替える	9	資料	26
鍵盤を弾く	10	音色リスト	26
音色を変える	10	音色デモ曲リスト	27
鍵盤のタッチ感度を変える	10	内蔵曲リスト	28
曲を再生する	11	困ったときは	30
内蔵曲を再生する	11	用語解説	32
プレイリストの曲を再生する	11	仕様一覧	34
音色デモを再生する	12	索引	36
USB フラッシュメモリー内の曲を再生する	13		
曲の再生順を設定する	14		
音に残響効果 (リバーブ) を加える	15		
音の高さを調節する	16		
鍵盤演奏音や曲の調を変える (トランスポーズ)	16		
鍵盤演奏音の高さを微調整する (チューニング)	16		
スマートデバイスアプリとつないで使う	17		
スマートピアニスト	17		
Rec'n'Share	19		

説明書について

ユーザーガイド (本書) では、本製品の機能の詳細を説明しています。本製品には、本書のほかに、以下の説明書が用意されています。目的に合わせてご活用ください。

- **クイックガイド**: 基本的な使い方を簡潔に説明しています。製品に付属の紙と同じ内容です。
- **セーフティーガイド**: 安全のために守っていただきたいことを説明しています。製品に付属の紙と同じ内容です。
- **鍵盤操作早見表**: 鍵盤を使って操作する機能の早見表と内蔵曲のリストです。印刷して楽器のそばに置いておくと便利です。
- **MIDI リファレンス**: 本製品の MIDI に関する資料です。
- **スマートピアニスト ユーザーガイド**: スマートフォンやタブレットで使えるアプリ「スマートピアニスト」の使い方を説明しています。本製品とアプリをつなぐとさまざまな便利な機能が使えます。

各部の名称と機能



NOTE

⑤ ~ ⑫ は本体底面にあります。

① [設定] (設定) ボタン

鍵盤演奏音 (音色) を変えるなど、さまざまな設定をします。このボタンを押したまま、機能が割り当てられた鍵盤を押すと、設定が変更されます。このボタンだけを押し、CFX グランド音色を呼び出せます。Bluetooth のペアリング待機中はランプが点滅します。鍵盤に割り当てられた機能は、[鍵盤操作早見表](#)で確認できます。

② [曲] (曲) ボタン

内蔵曲や USB フラッシュメモリー内の曲を再生します。このボタンを押したまま、機能が割り当てられた鍵盤を押すと、内蔵曲など曲の再生がスタートします。このボタンだけを押し、プレイリスト (クラシック) の先頭の曲の再生がスタートします。曲の再生中にこのボタンを押すと、再生がストップします。鍵盤に割り当てられた機能は、[鍵盤操作早見表](#)で確認できます。

③ [電源] (スタンバイ/オン) スイッチ

電源のスタンバイ / オンを切り替えます。電源オン時にランプが点灯します。

④ [音量] (音量) つまみ

楽器全体の音量を調節します。

⑤ ヘッドホンハンガー

ヘッドホンを掛けます。

ご注意

ヘッドホンハンガーにヘッドホン以外のものを掛けないでください。本体またはヘッドホンハンガーが破損する場合があります。

⑥ [PHONES] 端子 (ステレオ標準フォーン端子) ×2

ヘッドホンを接続します。

7 **[USB TO DEVICE]端子** (Type A端子)

曲データの入った USB フラッシュメモリーを接続します。オーディオファイル (.wav)、MIDI ファイル (.mid) を再生できます。

NOTE

[USB TO DEVICE] 端子に接続して使用できる USB 機器は、USB フラッシュメモリーのみです。その他の USB 機器 (USB ハブ、スマートデバイスなど) は接続しても使えません。USB2.0 または 3.0 の USB フラッシュメモリーを使用できますが、データの読み込みにかかる時間は、データの種類や楽器の状態により異なります。また、延長ケーブルは使わないでください。

動作確認済みの USB 機器については、[サポート・お問い合わせ「資料/データ」](#)のページで確認できます。

8 **[AUX IN]端子** (ステレオミニ端子)

スマートフォンなどのオーディオ再生機器を接続します。接続した機器の再生音をこの楽器のスピーカーから鳴らせます。

9 **AUX OUT [L/L+R]/[R]端子** (モノラル標準端子)

アンプ内蔵スピーカーなどを接続します。この楽器での演奏音をその機器から鳴らせます。

10 **[USB TO HOST]端子** (Type C端子)

[スマートデバイス](#) (スマートフォン/タブレット端末) や [コンピューター](#) を接続します。

11 **[TO PEDAL]端子**

ペダルユニットを接続します。

12 **DC IN端子**

電源アダプターを接続します。

13 **鍵盤**

通常の鍵盤として演奏するほか、楽器を操作するのに使います。

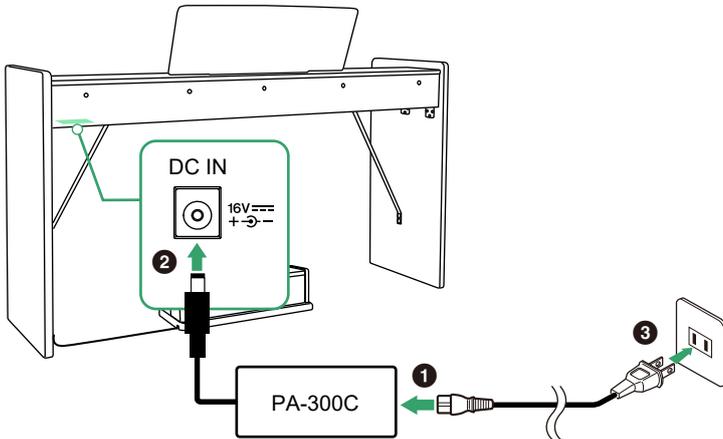
本書では、機能ごとにどの鍵盤を使って操作するか、機能の詳細とともに説明しています。鍵盤に割り当てられた機能の一覧は、[鍵盤操作早見表](#)をご確認ください。

ご使用前の準備

電源アダプターを接続する

本体底面の高音側にある DC IN 端子に、図の順序で付属の電源アダプター (PA-300C) を接続します。電源コンセントは必ず交流 100 V のものをご使用ください。

* 楽器の背面側から見た図です。



⚠ 警告

- 電源アダプター / 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。また、付属の電源アダプター / 電源コードをほかの製品に使用しないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。
- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

- 電源アダプター / 電源コードを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。
- 端子の近くにはコードホルダーがあり、ペダルユニットや電源アダプターのコードを留めておけます。

電源を入れる / 切る

1. [|||||] (音量) つまみを左いっぱいに戻して音量を最小にします。



2. [⏻] (スタンバイ / オン) スイッチを押して電源を入れます。

電源が入ると、スイッチ上部にある電源ランプが点灯します。音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。



ご注意

電源を入れるときは、[⏻] (スタンバイ / オン) スイッチ以外は操作 (鍵盤やボタンを押す、ペダルを踏むなど) しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

3. 楽器を使い終わったら、[⏻] (スタンバイ / オン) スイッチを 1 秒ほど押し続けて電源を切ります。

⚠ 警告

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

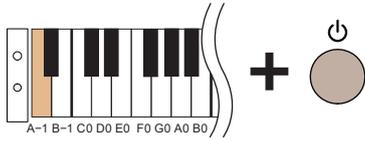
オートパワーオフ機能

楽器を操作しないまま 15 分が経過すると自動的に電源が切れます。このオートパワーオフ機能により、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぎます。必要に応じて、この機能のオン (有効) / オフ (無効) を切り替えられます。

◆ 初期設定 : オン (有効)

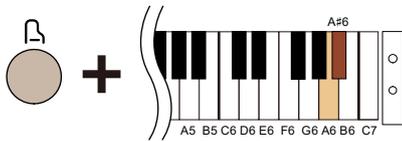
■ オートパワーオフ機能をオフにする (電源を切った状態で)

左端の鍵盤を押したまま電源を入ると、[♪](曲) ボタンのランプが点滅し、オートパワーオフ機能がオフの状態です。楽器が起動します。



■ オートパワーオフ機能のオン / オフを切り替える (電源を入れた状態で)

[⏸](設定) ボタンを押したまま、A6 (オフ) または A#6 (オン) の鍵盤を押して設定します。



音量を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら、[|||||](音量) つまみを回して全体音量を調節します。つまみを左に回すと音量が小さく、右に回すと音量が大きくなります。

⚠ 注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

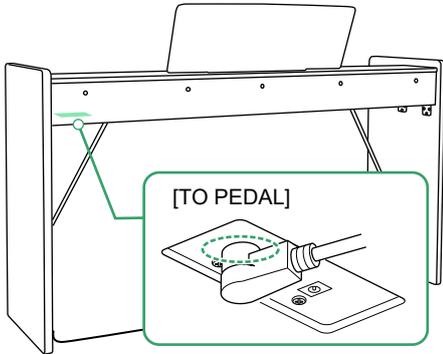


ペダルユニットを使う

付属のペダルユニット (または別売の FC35) を本体底面の高音側にある [TO PEDAL] 端子に接続すると、3本ペダルを使った演奏ができます。

ペダルユニットのプラグは、[TO PEDAL] 端子の横にあるイラストが示す向きに合わせて、プラグの金具部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。しっかり差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。

* 楽器の背面側から見た図です。



ご注意

プラグの向きを間違えないようにご注意ください。間違った向きで無理に差し込もうとすると故障の原因になります。

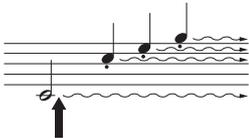
NOTE

- プラグの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- 端子の近くにはコードホルダーがあり、ペダルユニットや電源アダプターのコードを留めておけます。

■ 右のペダル (ダンパーペダル)

このペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても音が長く響きます。また、「CFX グランド」または「ベーゼンドルファー」の音色では、VRM の効果によりリアルな共鳴音が響きます。このペダルは、ハーフペダル機能を搭載しています。

下図の矢印 (↑) で示した位置でダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響きます。



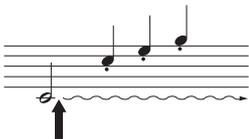
NOTE

「ジャズオルガン」の音色では、右のペダルを踏むと、音が減衰せずに持続して鳴り続けます。

■ 中央のペダル (ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても長く響きます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果がかけられないので、和音を長く鳴らしながらメロディーをスタッカートで弾くことができます。

下図の矢印 (↑) で示した位置でソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響きます。



NOTE

「パイプオルガン」、「ジャズオルガン」、「ストリングス」の音色では、中央のペダルを踏むと、音が減衰せずに持続して鳴り続けます。

■ 左のペダル (ソフトペダル)

このペダルを踏むと、音量がわずかに下がり、音の響きが柔らかくなります。ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果がかけられないので、効果をかけたい場合は、ペダルを踏んでから鍵盤を弾きます。

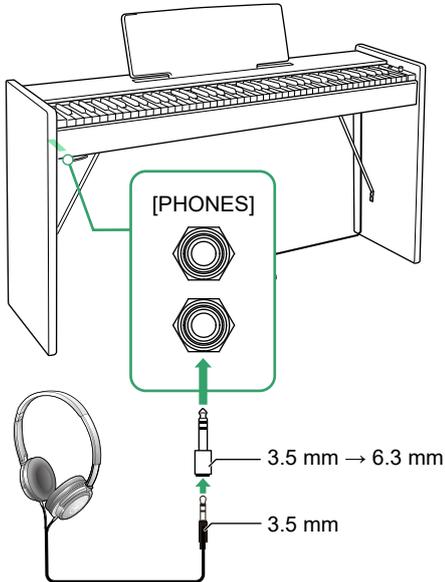
音色が「ジャズオルガン」のときは、ロータリースピーカーの回転の速い / 遅いの切り替え、「ビブラフォン」のときは、ビブラートのオン / オフの切り替え機能に自動的に変わります。

ヘッドホンを使う

本体底面の低音側にある [PHONES] 端子にヘッドホンを接続します。端子は 2 つあるのでヘッドホンを 2 本同時に使えます。1 本だけ使う場合は、どちらの端子を使っても構いません。[PHONES] 端子は、標準フォン端子のため、ミニプラグ (3.5 mm) のヘッドホンを使うには、下図のように変換プラグが必要です。

⚠ 注意

大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

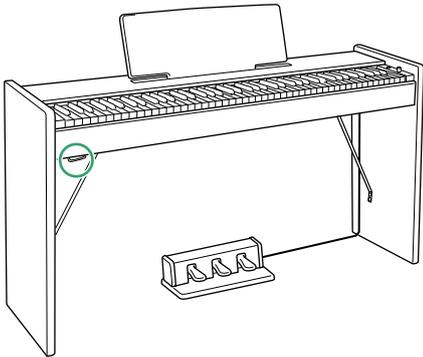


NOTE

[PHONES] 端子にプラグがささっていると、楽器のスピーカーから音が出ません。ヘッドホンを使用しないときは、ヘッドホン (と変換プラグ) を外してください。

ヘッドホンハンガーを使う

[PHONES] 端子の横にヘッドホンハンガーがあります。ヘッドホンはここに掛けられます。



ご注意

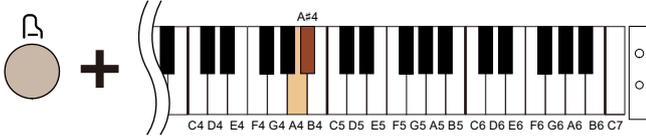
ヘッドホンハンガーにヘッドホン以外のものを掛けないでください。本体またはヘッドホンハンガーが破損する場合があります。

バイノーラルのオン / オフを切り替える

バイノーラルをオンにすると、ヘッドホン接続時でも臨場感のあるピアノ音で楽しめます。「CFX グランド」の音色を選んでいるときにヘッドホンを接続すると、自動的に**バイノーラルサンプリング**の音に切り替わります。また「ベーゼンドルファー」の音色を選んでいるときにヘッドホンを接続すると、自動的に**ステレオフィニッシュオプティマイザー**の効果がかけられます。

[Fn](設定) ボタンを押したまま、**A4** (オフ) または **A#4** (オン) の鍵盤を押して設定します。

◆ 初期設定 : オン



NOTE

バイノーラルをオンにしてヘッドホンを接続すると、AUX OUT 端子に接続した外部機器に出力される音にも効果がかけられ、不自然に聞こえる場合があります。その場合は、バイノーラルをオフにしてください。

スピーカーの設定をする

楽器本体のスピーカーから音を出すかどうかを設定します。

[Fn](設定) ボタンを押したまま、**G5** (オフ)、**G#5** (オン) または **A5** (標準) の鍵盤を押して設定します。

◆ 初期設定 : 標準



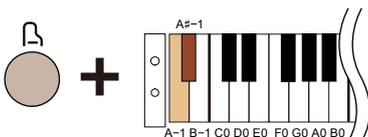
G5	オフ	常にスピーカーから音が出ません。
G#5	オン	常にスピーカーから音が出ます。
A5	標準	[PHONES] 端子にヘッドホン (または変換プラグ) が接続されていないときだけスピーカーから音が出ます。

操作音のオン / オフを切り替える

ボタンと鍵盤を使って設定を変更したときに、操作音 (クリック音、またはオン / オフや数値の読み上げ音声) を鳴らす (オン)、鳴らさない (オフ) を設定します。

[Fn](設定) ボタンを押したまま、**A-1** (オフ) または **A#-1** (オン) の鍵盤を押して設定します。

◆ 初期設定 : オン



鍵盤を弾く

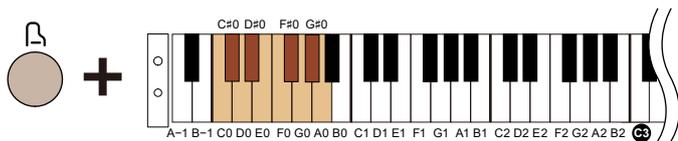
音色を変える

鍵盤を弾くときの音色を 10 種類から選べます。2 つの音色を重ねて弾くこともできます (デュアル機能)。

[**⏏**] (設定) ボタンを押したまま、**C0** ~ **A0** の鍵盤の 1 つまたは 2 つを押して音色を選びます。2 つの鍵盤を押した場合は、2 つの音色を重ねて鳴らせます。

[**⏏**] (設定) ボタンだけを押しすと、「CFX グランド」の音色を呼び出せます。

◆ 初期設定 : CFX グランド



C0	CFX グランド
C#0	ベーゼンドルファー
D0	モーツァルトピアノ
D#0	ステージエレピ
E0	DX エレピ
F0	ハーブシコード
F#0	ビブラフォン
G0	パイプオルガン
G#0	ジャズオルガン
A0	ストリングス

各音色には、その特徴を表した [デモ曲](#) が用意されています。また「[音色リスト](#)」では、各音色について説明しています。音色選びの参考にしてください。

NOTE

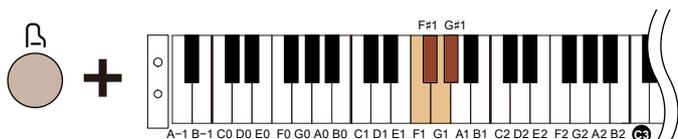
「CFX グランド」または「ベーゼンドルファー」の音色を選んだときに [VRM](#) の効果がかかります。

鍵盤のタッチ感度を変える

鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付き方 (タッチ感度) を変更します。音色によっては、音に強弱が付かないものもあります。

[**⏏**] (設定) ボタンを押したまま、**F1** ~ **G#1** の鍵盤の 1 つを押して設定します。

◆ 初期設定 : ミディアム



F1	ソフト	弱く弾いても大きな音が出ます。
F#1	ミディアム	標準的なタッチです。
G1	ハード	強く弾かないと大きな音が出ません。
G#1	固定	タッチによる強弱は付かず一定の音量が出ます。

曲を再生する

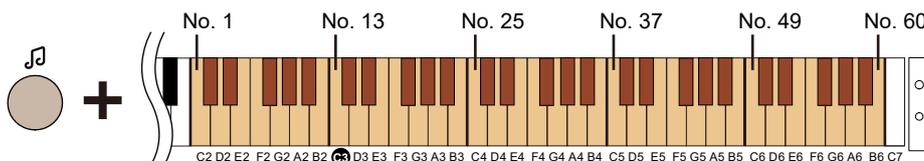
この楽器に内蔵されている曲、または [USB TO DEVICE] 端子に接続した USB フラッシュメモリー内の曲データを再生できます。

内蔵曲を再生する

この楽器にはクラシックやポップスなど 60 曲が内蔵されています。曲名 / 作曲者名については、「[内蔵曲リスト](#)」でご確認ください。

[♪](曲) ボタンを押したまま、**C2** (曲 No. 1) から **B6** (曲 No. 60) の鍵盤の 1 つを押すと、その鍵盤に割り当てられた内蔵曲の再生がスタートします。1 曲の再生が終わると別の内蔵曲が再生され、すべての内蔵曲の再生が終わると、最初の曲に戻りまた再生が続きます。

再生を停止するには、[♪](曲) ボタンを押します。

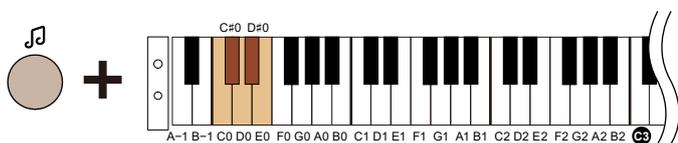


プレイリストの曲を再生する

内蔵曲から 5 つのプレイリストを用意しています。お好みのプレイリストを再生してみましょう。各プレイリストの曲名 / 作曲者名については、「[内蔵曲リスト](#)」でご確認ください。

[♪](曲) ボタンを押したまま、**C0** から **E0** の鍵盤の 1 つを押すと、その鍵盤に割り当てられたプレイリストの曲再生がスタートします。その後、選んだプレイリスト内のすべての曲の再生が続きます。

再生を停止するには、[♪](曲) ボタンを押します。

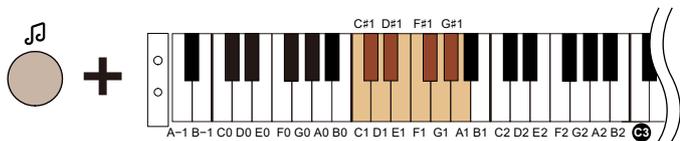


C0	クラシック	内蔵曲のうち No. 1 ~ 30 の曲です。クラシックを集めてあります。
C#0	ポップス	内蔵曲のうち No. 31 ~ 54 の曲です。国内外のポップスを集めてあります。
D0	イベント	内蔵曲のうち No. 55 ~ 60 の曲です。クリスマスや誕生日の曲を集めてあります。
D#0	モーニング	内蔵曲のうち、すがすがしい朝に合う曲を集めてあります。
E0	イブニング	内蔵曲のうち、夜のくつろぎ空間に合う曲を集めてあります。

音色デモを再生する

各音色の特徴を表したデモ曲が用意されています。曲名 / 作曲者名については、「[音色デモ曲リスト](#)」でご確認ください。

[♪](曲) ボタンを押したまま、C1 から A1 の鍵盤の1つを押すと、その鍵盤に割り当てられた音色のデモ曲の再生がスタートします。1曲の再生が終わると別のデモ曲が再生され、すべてのデモ曲の再生が終わると、最初の曲に戻りまた再生が続きます。再生を停止するには、[♪](曲) ボタンを押します。



C1	CFX グランド
C#1	ベーゼンドルファー
D1	モーツァルトピアノ
D#1	ステージエレピ
E1	DX エレピ
F1	ハープンコード
F#1	ビブラフォン
G1	パイプオルガン
G#1	ジャズオルガン
A1	ストリングス

USB フラッシュメモリー内の曲を再生する

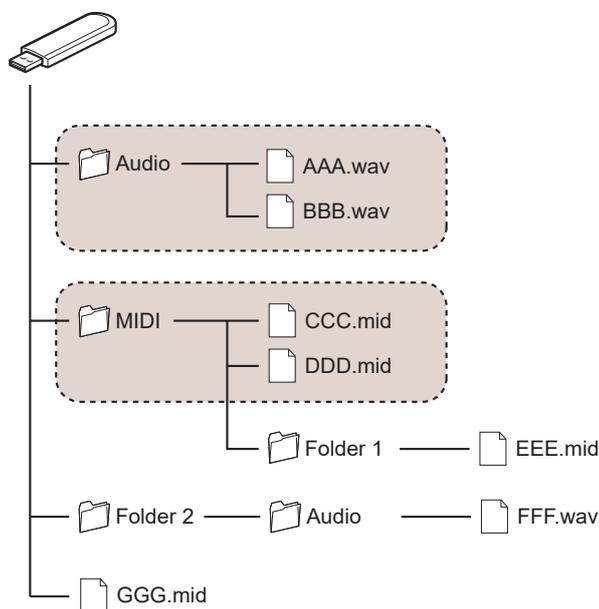
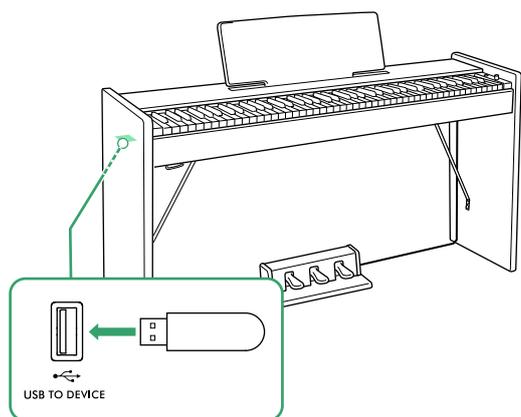
曲データの入った USB フラッシュメモリーを本体底面の低音側にある [USB TO DEVICE] 端子に接続すると、この楽器で曲を再生できます。再生できる曲データの形式は以下のとおりです。

- **オーディオファイル**：.WAV (44.1kHz、16 ビット、ステレオ)
- **MIDI ファイル**：.MID (SMF フォーマット 0、1)

曲を再生するには、USB フラッシュメモリー内の適切な位置にデータを保存する必要があります。コンピューターを使って、USB フラッシュメモリーの最も上の階層に「Audio」フォルダーと「MIDI」フォルダーを作成します。オーディオファイルは「Audio」フォルダー、MIDI ファイルは「MIDI」フォルダーの直下に保存してください。その他の位置にあるファイルは再生できません。

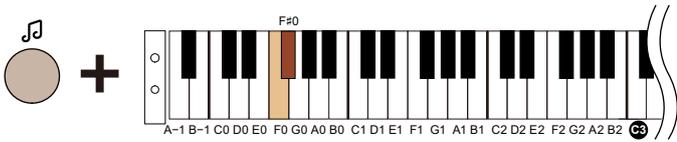
NOTE

- この楽器は、[GM システムレベル 2](#)、[XG](#)、[GS](#) に対応しています。
- **曲順再生**では、ファイル名順に再生されます。ファイル名の優先順位は、数字 > アルファベット > カナ / かな > 漢字です。
- 「Audio」、「MIDI」フォルダーの曲はそれぞれ 100 ファイルまで再生できます。101 番め以降のファイルは再生されません。



[♪](曲) ボタンを押したまま、**F0** (MIDI) または **F#0** (オーディオ) の鍵盤を押すと、USB フラッシュメモリー内の曲の再生がスタートします。F0 を押した場合は MIDI ファイルのみ、F#0 を押した場合はオーディオファイルのみが連続再生されます。1 曲の再生が終わると USB フラッシュメモリー内の別の曲が再生され、すべての曲 (MIDI またはオーディオ) の再生が終わると、最初の曲に戻りまた再生が続きます。

再生を停止するには、[♪](曲) ボタンを押します。



ご注意

- [USB TO DEVICE] 端子の定格は、最大 5 V/500 mA です。定格を超える USB 機器は故障の原因になるため、接続しないでください。
- USB フラッシュメモリーの抜き差しは、曲の再生中には行わないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB フラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。また、抜き差しの間隔は、数秒空けてください。

NOTE

[USB TO DEVICE] 端子に接続して使用できる USB 機器は、USB フラッシュメモリーのみです。その他の USB 機器 (USB ハブ、スマートデバイスなど) は接続しても使えません。USB2.0 または 3.0 の USB フラッシュメモリーを使用できますが、データの読み込みにかかる時間は、データの種類や楽器の状態により異なります。また、延長ケーブルは使わないでください。

動作確認済みの USB 機器については、[サポート・お問い合わせ「資料 / データ」](#) のページで確認できます。

別売ミュージックデータのご紹介

お好みの曲のデータを購入いただくことで、この楽器で再生したり、練習したりと便利に活用できます。

■ ヤマハミュージックデータショップ

MIDI 形式の曲データ、および楽譜データなどのミュージックデータをインターネットで購入できるサービスです。さまざまなジャンルの曲を試聴しながら 1 曲ずつ購入できます。

■ Muma

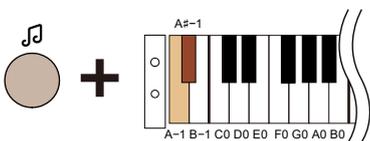
Muma とは、ヤマハのお店にあるミュージックデータ販売システムです。店頭で曲を試聴してデータを購入し、USB フラッシュメモリーに収録できます (USB フラッシュメモリーはご持参ください)。

曲の再生順を設定する

[内蔵曲](#)、[プレイリストの曲](#)、[音色デモ](#)を、リストの曲順で再生するか、ランダム (順不同) に再生するかを選べます。

[♪](曲) ボタンを押したまま、**A-1** (ランダム再生) または **A#-1** (曲順再生) の鍵盤を押して選びます。

◆ 初期設定 : 曲順再生



音に残響効果 (リバーブ) を加える

鍵盤演奏音や曲の再生音に残響を加えます。コンサートホールなどで演奏しているかのような臨場感を味わえます。

■ リバーブのタイプを選ぶ

[**リ**] (設定) ボタンを押したまま、**C2** から **G2** の鍵盤の1つを押します。

◆ 初期設定：音色または音色の組み合わせにより異なる



C2	オフ	効果なし
C#2	リサイタルホール	ピアノリサイタル向けの中規模ホールのクリアな響き
D2	コンサートホール	オーケストラの公演が行われる大きなホールの華やかな響き
D#2	サロン	室内楽に適した、宮廷内の広間の落ち着いた響き
E2	ルーム	ホールよりも小さな空間 (部屋) で弾いたような優しい響き
F2	大聖堂	天井の高い石造りの大聖堂の荘厳な響き
F#2	クラブ	ライブハウスやジャズクラブのメリハリのある響き
G2	プレート	録音スタジオで使用される往年のリバーブ装置の明るい響き

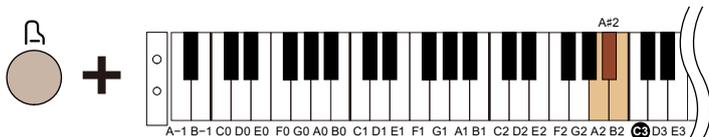
■ リバーブのかかり具合を調節する

[**リ**] (設定) ボタンを押したまま、**A2** (1つ下げる) または **B2** (1つ上げる) の鍵盤を押します。

[**リ**] (設定) ボタンを押したまま、**A#2** の鍵盤を押すと初期設定に戻ります。

◆ 設定範囲：0 ~ 20

◆ 初期設定：音色または音色の組み合わせにより異なる



音の高さを調節する

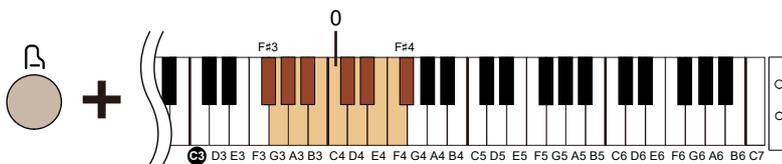
鍵盤演奏音や曲の調を変える (トランスポーズ)

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さに半音単位でキー (調) を合わせることができます。この機能をトランスポーズ (移調) といいます。たとえば、トランスポーズを「+ 5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「ハ長調」の弾きかたで「ヘ長調」の演奏になります。トランスポーズは[曲再生](#)にも効果します。

[] (設定) ボタンを押したまま、**F#3** (- 6) から **F#4** (+ 6) の鍵盤の 1 つを押して設定します。

◆ 設定範囲: - 6 ~ 0 ~ + 6

◆ 初期設定: 0



鍵盤演奏音の高さを微調整する (チューニング)

鍵盤を弾くときの音の高さを微調整します。ほかの楽器との合奏など、それらのピッチ (音の高さ) と楽器本体のピッチを正確に合わせたい場合に設定します。

■ 音の高さを上げ下げする (約 0.2 Hz 単位)

[] (設定) ボタンを押したまま、**C1** (約 0.2 Hz 下げる) または **D1** (約 0.2 Hz 上げる) の鍵盤を押して設定します。

◆ 設定範囲: A3 = 414.8 ~ 440.0 ~ 466.8 Hz (約 0.2 Hz 単位)

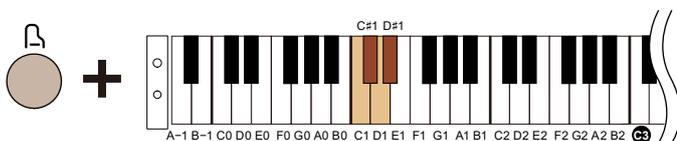
◆ 初期設定: A3 = 440.0 Hz

■ A3 = 440.0 Hz に戻す

[] (設定) ボタンを押したまま、**C#1** の鍵盤を押します。

■ A3 = 442.0 Hz に設定する

[] (設定) ボタンを押したまま、**D#1** の鍵盤を押します。



スマートデバイスアプリとつないで使う

スマートデバイス (スマートフォンやタブレット端末) にアプリをインストールしてこの楽器とつなぐと、便利な機能を使えます。この楽器は下記の 2 つのアプリに対応しています。アプリについて詳しくは、[ヤマハウェブサイトのアプリのページ](#)からスマートピアニスト (Smart Pianist) または Rec'n'Share のページをご確認ください。



スマートピアニスト

画面上で設定内容を確認しながら操作できます。演奏の録音や曲の再生、譜面の表示、メトロノームなど練習に便利な機能も使えます。

* アプリ内蔵のレッスン曲や市販の曲を利用できます。T01 の内蔵曲や音色デモ曲はアプリでは再生できません。



Rec'n'Share

お気に入りの曲に合わせて演奏したり、それを動画で撮影 / 録音したりできます。またそのデータを編集したり、インターネット上で共有したりできます。

スマートピアニスト

スマートピアニストを使うには、楽器とスマートデバイスを、[Bluetooth](#) または [USB ケーブル](#) により接続します。ここでは楽器上で必要な操作を説明します。その他、接続方法やアプリの使い方など詳しくは、「[スマートピアニストユーザーガイド](#)」をご確認ください。

ご注意

スマートピアニストと接続すると、楽器の設定は、スマートピアニストで設定した内容に変更されます。

NOTE

スマートピアニストとの接続中は、楽器上では操作できません。スマートピアニストを使って楽器を操作してください。スマートピアニストとの接続を解除するには、スマートピアニストを閉じるか、楽器の [設定] ボタンを押します。

Bluetooth で接続する

楽器とスマートデバイスを Bluetooth で接続するには、Bluetooth [MIDI](#) と Bluetooth [オーディオ](#) の設定を個別にする必要があります。スマートピアニストを使うには、必ず Bluetooth MIDI での接続が必要です (下記手順 1 と 5)。スマートデバイス内のオーディオデータを再生して楽器で鳴らすには、Bluetooth オーディオの設定 (下記手順 2 ~ 4) も必要です。

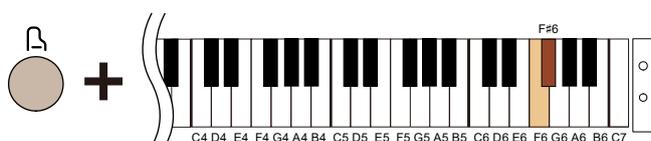
Bluetooth で接続する前に、必ず「[Bluetooth に関するお知らせ](#)」をお読みください。

NOTE

Bluetooth で接続した場合、スマートピアニストでオーディオ録音はできません。オーディオ録音するには、USB ケーブルで接続してください。

1. [設定] ボタンを押したまま、F#6 の鍵盤を押して、楽器の Bluetooth 機能をオンにします。

◆ 初期設定 : オン

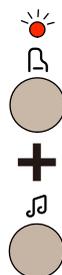


NOTE

Bluetooth 機能をオフにするには、[設定] ボタンを押したまま、F6 の鍵盤を押します。

2. [設定] ボタンと [曲] ボタンを同時に 3 秒押し続けます。

[設定] ボタンのランプが点滅し、ペアリング待機状態であることが示されます。



NOTE

ペアリングとは、スマートデバイスなど Bluetooth 対応オーディオ再生機器をこの楽器に登録し、無線通信できるように設定することです。

3. 接続するスマートデバイスの Bluetooth 機能をオンにして、接続リストから「T01 AUDIO」を選んでペアリングします。

詳しい操作方法はスマートデバイスの説明書をご覧ください。

NOTE

- スマートデバイスの設定は、5 分以内に行ってください。
- 最大 8 台の Bluetooth 対応オーディオ再生機器 (スマートデバイスなど) とペアリングできますが、同時に接続できるのは 1 台のみです。9 台目の機器とのペアリングが成功すると、最も先に登録した機器の情報が削除されます。

4. スマートデバイスでオーディオデータを再生し、楽器から音が出ることを確認します。

1 度ペアリングすると、次に楽器の電源を入れたときに、楽器とスマートデバイス双方の Bluetooth 機能がオンであれば、前回最後に接続したスマートデバイスと自動で接続されます。自動で接続されない場合は、スマートデバイスの接続リストから再度モデル名を選択してください。

5. スマートピアノを使って、楽器とスマートデバイスを Bluetooth MIDI で接続します。

接続方法は、「[スマートピアノユーザーガイド](#)」をご確認ください。接続先として、「T01 MIDI」を選んでください。

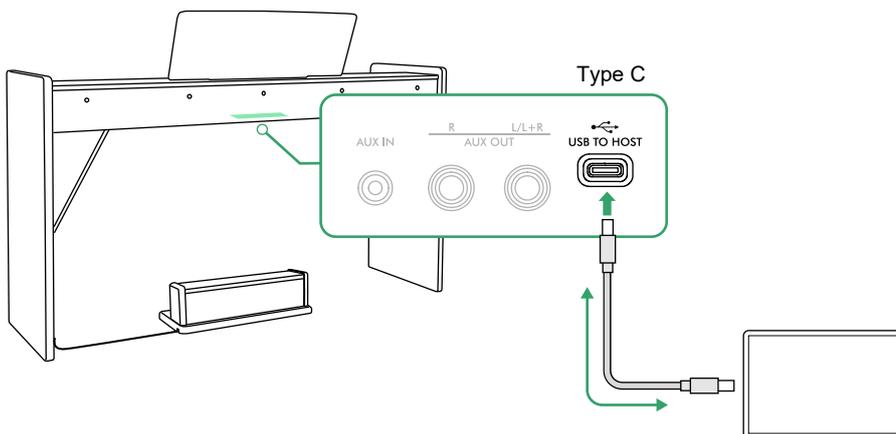
USB ケーブルで接続する

本体底面の中央背面側にある [USB TO HOST] 端子に、USB ケーブルを使って、スマートデバイスを接続します。Type C 端子搭載のデバイスを接続する場合は、Type C - Type C タイプの USB ケーブルを使います。Lightning コネクタ搭載のデバイスを接続する場合は、Type C - Type A タイプの USB ケーブルと Apple Lightning - USB カメラアダプタ (または Lightning - USB 3 カメラアダプタ) を使います。接続方法について詳しくは、「[スマートピアノユーザーガイド](#)」をご確認ください。接続先として、「T01」を選んでください。

ご注意

- USB ケーブルは、Type C - Type C または Type C - Type A タイプで 3 メートル未満のものをご使用ください。また、充電専用ではなく、USB 規格に準拠したデータ通信可能なケーブルをご使用ください。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - すべてのアプリを終了させる。
 - 楽器からデータが送信されていないか確認する (鍵盤を弾いたり曲を再生させたりしても、データが送信されます)。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

* 楽器の背面側から見た図です。



NOTE

- コンピューターやスマートデバイスなどの外部機器から楽器の [USB TO HOST] 端子に入力される音声を、楽器での演奏音とともに外部機器に出力する (オーディオループバックする) かどうかを設定できます。
- スマートデバイスの機種または OS の種類によっては、ノイズが発生したりこの機能を使用できなくなったりする場合があります。
- [USB TO HOST] 端子に接続したスマートデバイスをこの楽器で充電することはできません。

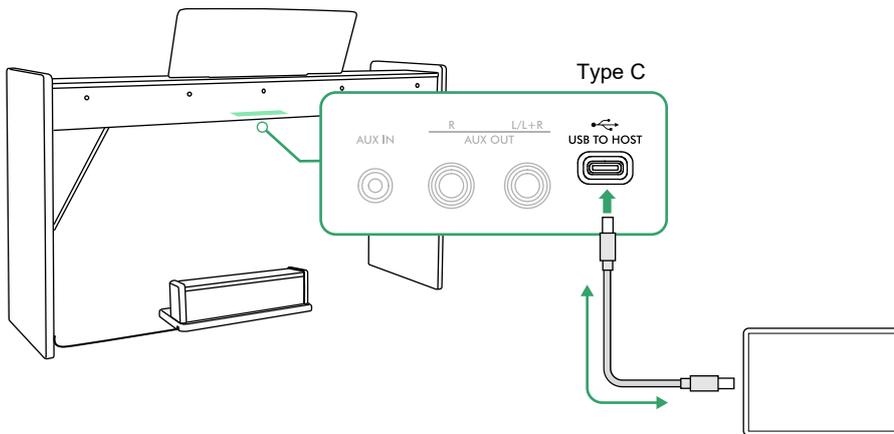
Rec'n'Share

Rec'n'Share を使うには、楽器とスマートデバイスを USB ケーブルで接続します。Bluetooth で接続して使うことはできません。本体底面の中央背面側にある [USB TO HOST] 端子に、USB ケーブルを使って、スマートデバイスを接続します。Type C 端子搭載のデバイスを接続する場合は、Type C - Type C タイプの USB ケーブルを使います。Lightning コネクタ搭載のデバイスを接続する場合は、Type C - Type A タイプの USB ケーブルと Apple Lightning - USB カメラアダプタ (または Lightning - USB 3 カメラアダプタ) を使います。

ご注意

- USB ケーブルは、Type C - Type C または Type C - Type A タイプで 3 メートル未満のものをご使用ください。また、充電専用ではなく、USB 規格に準拠したデータ通信可能なケーブルをご使用ください。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - すべてのアプリを終了させる。
 - 楽器からデータが送信されていないか確認する (鍵盤を弾いたり曲を再生させたりしても、データが送信されます)。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

* 楽器の背面側から見た図です。



NOTE

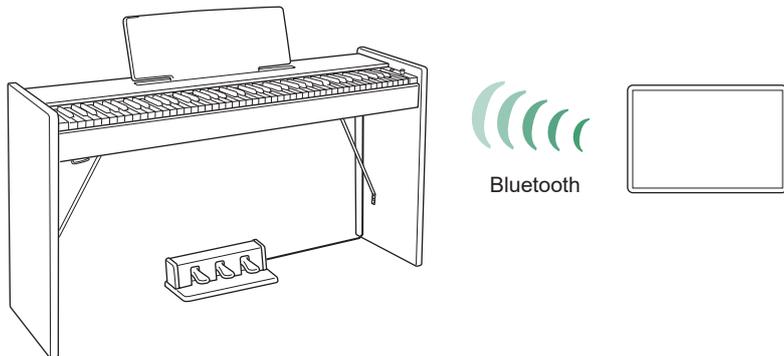
- コンピューターやスマートデバイスなどの外部機器から楽器の [USB TO HOST] 端子に入力される音声を、楽器での演奏音とともに外部機器に出力する ([オーディオループバック](#)する) かどうかを設定できます。
- [USB TO HOST] 端子に接続したスマートデバイスをこの楽器で充電することはできません。

オーディオ機器での再生音を楽器から鳴らす

スマートフォンやコンピューターなどのオーディオ再生機器をこの楽器に接続すると、接続した機器での再生音を楽器のスピーカーから鳴らせます。Bluetooth オーディオ、[AUX IN] 端子、または [USB TO HOST] 端子により接続します。

Bluetooth で接続する (Bluetooth オーディオ機能)

Bluetooth 対応のオーディオ再生機器は、Bluetooth オーディオ機能により楽器と接続できます。オーディオ再生機器でオーディオデータを再生すると、この楽器のスピーカーから音が鳴ります。



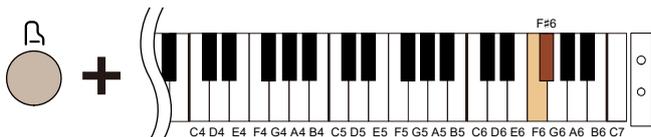
NOTE

- 接続するオーディオ再生機器は、Bluetooth によりオーディオデータを送信できる機能が必要です。また、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応している必要があります。
- この楽器から外部機器に Bluetooth でオーディオデータを送信することはできません。そのため、Bluetooth ヘッドホンやスピーカーとは接続できません。

Bluetooth で接続する前に、必ず「[Bluetooth に関するお知らせ](#)」をお読みください。

1. [設定] ボタンを押したまま、F#6 の鍵盤を押して、楽器の Bluetooth 機能をオンにします。

◆ 初期設定: オン



NOTE

Bluetooth 機能をオフにするには、[設定] ボタンを押したまま、F6 の鍵盤を押します。

2. [設定] ボタンと [曲] ボタンを同時に 3 秒押し続けます。

[設定] ボタンのランプが点滅し、ペアリング待機状態であることが示されます。



NOTE

ペアリングとは、Bluetooth 対応機器をこの楽器に登録し、無線通信できるように設定することです。

3. 接続するオーディオ再生機器の Bluetooth 機能をオンにして、接続リストから「T01 AUDIO」を選んでペアリングします。

詳しい操作方法はオーディオ再生機器の説明書をご覧ください。

NOTE

- オーディオ再生機器側の設定は、5分以内に行ってください。
- 最大 8 台の Bluetooth 対応オーディオ再生機器とペアリングできますが、同時に接続できるのは 1 台のみです。9 台目の機器とのペアリングが成功すると、最も先に登録した機器の情報が削除されます。

4. オーディオ再生機器でオーディオデータを再生し、楽器から音が出ることを確認します。

1 度ペアリングすると、次に楽器の電源を入れたときに、楽器とオーディオ再生機器の Bluetooth 機能がオンであれば、前回最後に接続したオーディオ再生機器と自動で接続されます。自動で接続されない場合は、オーディオ再生機器の接続リストから再度モデル名を選択してください。

■ Bluetooth® に関するお知らせ

Bluetooth とは、2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

• Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本製品はすべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

• 製品の取り扱いに関する注意

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、日本電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しております。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本製品に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解 / 改造する
 - 本体底面の銘板をはがしたり、消したりする

• 無線に関する注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

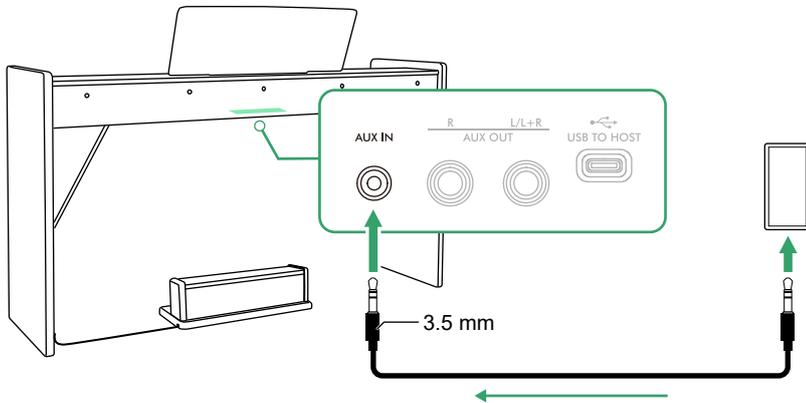
オーディオ接続ケーブルを使って接続する ([AUX IN] 端子)

本体底面の中央背面側にある [AUX IN] 端子に、オーディオ接続ケーブル (ステレオミニプラグ) を使って、オーディオ再生機器を接続します。オーディオ再生機器でオーディオデータを再生すると、この楽器のスピーカーから音が鳴ります。

ご注意

[AUX IN] 端子を使うときは、外部機器の損傷を防ぐため、外部機器→楽器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、楽器→外部機器の順に行ってください。

* 楽器の背面側から見た図です。



NOTE

オーディオ接続ケーブルおよび変換プラグは、抵抗なしのタイプをお使いください。抵抗入りのケーブルを使用すると、音量が小さくなる場合があります。

USB ケーブルを使って接続する ([USB TO HOST] 端子)

本体底面の中央背面側にある [USB TO HOST] 端子に、USB ケーブルを使って、オーディオ再生機器を接続します。オーディオ再生機器でオーディオデータを再生すると、この楽器のスピーカーから音が鳴ります。[AUX IN] 端子での接続と比べて、音質の劣化が少なくクリアな音質で楽しめます。

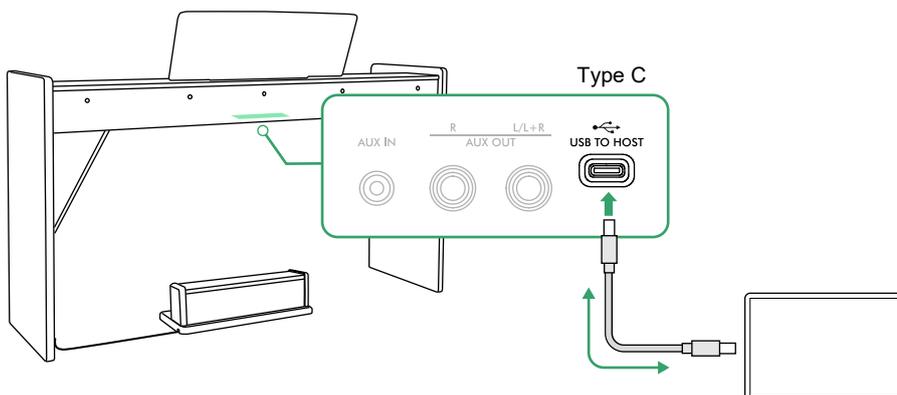
Type C 端子搭載のデバイスを接続する場合は、Type C - Type C タイプの USB ケーブルを使います。Lightning コネクタ搭載の機器を接続する場合は、Type C - Type A タイプの USB ケーブルと Apple Lightning - USB カメラアダプタ (または Lightning - USB 3 カメラアダプタ) を使います。

[コンピューター](#)や[スマートデバイス](#)を接続した場合は、オーディオ再生音を楽器から鳴らすだけでなく、楽器と接続した機器との間で MIDI データやオーディオデータをやりとりできます。

ご注意

- USB ケーブルは、Type C - Type C または Type C - Type A タイプで 3 メートル未満のものをご使用ください。また、充電専用ではなく、USB 規格に準拠したデータ通信可能なケーブルをご使用ください。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - すべてのアプリを終了させる。
 - 楽器からデータが送信されていないか確認する (鍵盤を弾いたり曲を再生させたりしても、データが送信されます)。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

* 楽器の背面側から見た図です。



NOTE

[USB TO HOST] 端子に接続したオーディオ再生機器をこの楽器で充電することはできません。

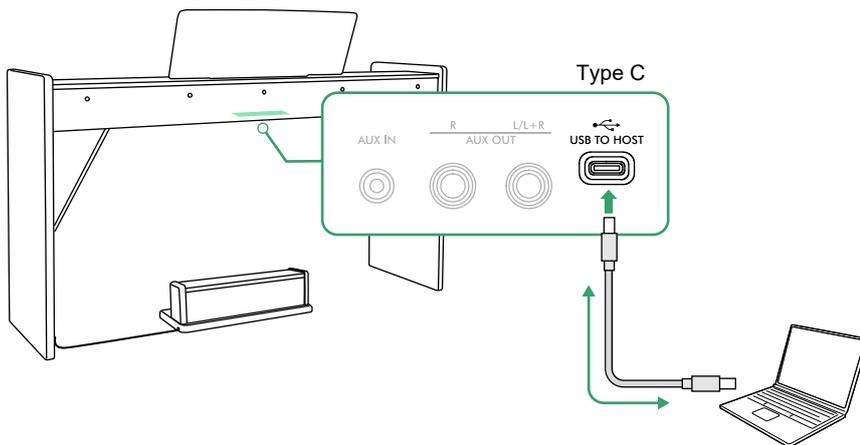
コンピューターと通信する

本体底面の中央背面側にある [USB TO HOST] 端子に、USB ケーブルを使って、コンピューターを接続します。楽器とコンピューター間で **MIDI** データや**オーディオ**データをやりとりできます。たとえば、楽器での演奏をコンピューター上で録音したり、コンピューター上で曲を再生して楽器から鳴らしたりできます。

ご注意

- USB ケーブルは、Type C - Type C または Type A - Type C タイプで 3 メートル未満のものをご使用ください。また、充電専用ではなく、USB 規格に準拠したデータ通信可能なケーブルをご使用ください。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させる。
 - 楽器からデータが送信されていないか確認する (鍵盤を弾いたり曲を再生させたりしても、データが送信されます)。
- 楽器の電源オン / オフや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。
- DAW (Digital Audio Workstation) などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用する場合、設定によっては大きな音が発生することがあるため、**オーディオループバック**をオフにしてご使用ください。

* 楽器の背面側から見た図です。



NOTE

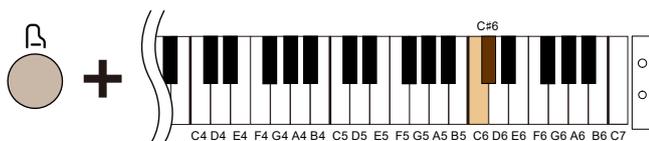
- 楽器とコンピューターは、ハブを経由せず直接 USB ケーブルで接続してください。
- コンピューターの機種または OS の種類によっては、ノイズが発生したりこの機能を使用できなくなったりする場合があります。
- **グランド・エクスプレッション・モデリング**に関連する MIDI データを編集すると予期せぬ音が生じる場合があります。
- Windows 搭載のコンピューターでオーディオデータを送受信するときに、動作が不安定だったり遅延が生じたりする場合は、「Yamaha Steinberg USB Driver」をご利用ください。[サポート・お問い合わせ「ソフトウェア」](#)のページで「Yamaha Steinberg USB Driver」を検索し、ドライバーをコンピューターにインストールしてください。インストール方法は、ダウンロードファイルに付属のインストールガイドでご確認ください。
- [USB TO HOST] 端子に接続したコンピューターをこの楽器で充電することはできません。

オーディオループバックのオン / オフを切り替える

コンピューターやスマートデバイスなどの外部機器から楽器の [USB TO HOST] 端子に入力される音声を、楽器での演奏音とともに外部機器に出力する (オーディオループバックする) かどうかを設定できます。出力する場合はオンに、出力しない場合はオフにします。たとえば、コンピューターやスマートデバイスを使って、楽器での演奏音だけでなく楽器へ入力したオーディオ再生音も録音したい場合はオンに、楽器での演奏音だけを録音したい場合はオフにします。

[**⏏**] (設定) ボタンを押したまま、**C6** (オフ) または **C#6** (オン) の鍵盤を押して設定します。

◆ 初期設定: オン



NOTE

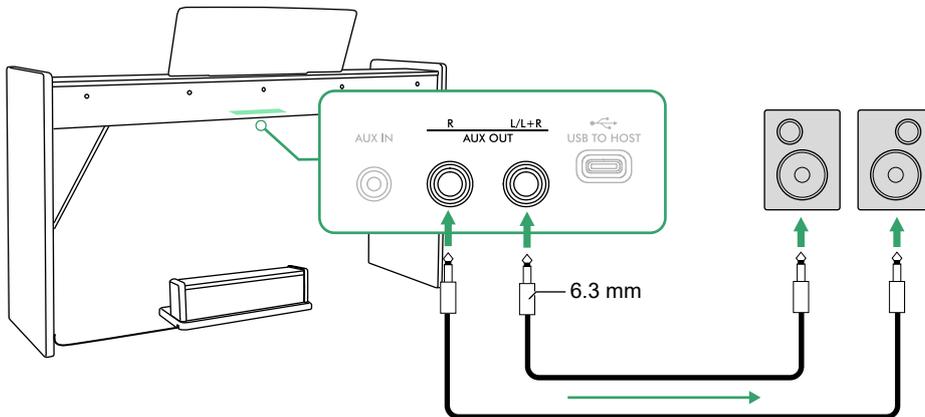
[AUX IN] 端子や Bluetooth で接続した機器には出力されません。

楽器の音を外部スピーカーから鳴らす

本体底面の中央奥にある AUX OUT [L/L+R]/[R] 端子に、オーディオ接続ケーブル (モノラル標準プラグ) を使って、アンプ内蔵スピーカーなどを接続します。楽器での演奏音を接続した外部機器に出力できます。

ご注意

- AUX OUT 端子を使うときは、外部機器の損傷を防ぐため、楽器→外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、外部機器→楽器の順に行ってください。[オートパワーオフ機能](#)により、楽器の電源が自動的に切れることがあります。外部機器を接続した状態で、長時間楽器を操作しない場合は、外部機器の電源を切るか、オートパワーオフを解除してください。
- AUX OUT 端子から外部機器に出力した音を、楽器の [AUX IN] 端子に戻さないでください。楽器の [AUX IN] 端子から入力された音はそのまま AUX OUT 端子から出力されるので、オーディオ系の発振が起こり、音が正常に鳴らないだけでなく、両機器の故障の原因になります。



NOTE

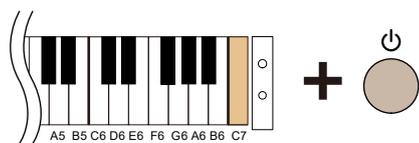
- モノラル出力の場合 (スピーカーを1台だけ使う場合) には、[L/L+R] 端子をご使用ください。
- ヘッドホンを接続して AUX OUT 端子の出力音をモニターする場合は、「[バイノーラル](#)」の設定をオフにすることをおすすめします。

楽器を初期化する

以下の設定は、電源を切っても記憶されていて、次に電源を入れたときもその設定のまま起動します。

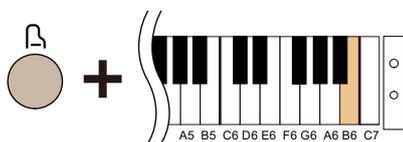
- [タッチ感度](#)
- [チューニング](#)
- [オートパワーオフのオン / オフ](#)
- [バイノーラルのオン / オフ](#)
- [操作音のオン / オフ](#)
- [スピーカーの設定](#)
- [Bluetooth の設定 \(オン / オフとペアリング情報 \)](#)
- [曲の再生順](#)

これらを初期設定 (工場出荷時の状態) に戻すには、いったん電源を切り、右端の鍵盤を押したまま電源を入れます。[設定] ボタンと [曲] ボタンのランプが点滅してから楽器が起動します。Bluetooth のペアリング情報は消去されません。



楽器のバージョンを確認する

[設定] ボタンを押したまま、B6 の鍵盤を押すと、楽器のバージョンが英語で読み上げられます。



音色リスト

音色の選び方は、「[音色を変える](#)」をご覧ください。

鍵盤	音色名	説明
C0	CFX グランド	ヤマハコンサートグランドピアノ CFX の音です。弱く弾いた音から強く弾いた音までのダイナミックレンジが広く、表情豊かな演奏ができます。あらゆるジャンルの演奏に適しています。ヘッドホンを接続したときは、ヘッドホン専用にはサンプリングされた音に自動で切り替わります。
C#0	ベーゼンドルファー	ウィーンで有名なベーゼンドルファー社のコンサートグランドピアノ、インペリアル音の音です。ピアノの大きさを感じさせる広がりある音が特徴で、曲の優しさを表現するのに適しています。
D0	モーツァルトピアノ	18世紀後半にウィーンの楽器製作者が作ったピアノです。モーツァルトやベートーヴェンは、この製作者のピアノを高く評価し、演奏していました。輪郭のはっきりとした軽やかな音が特徴です。
D#0	ステージ エレピ	音叉をハンマーでたたいて発音させるしくみの電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
E0	DX エレピ	FM シンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポップスにおすすめです。
F0	ハープシコード	バロック音楽でよく使われるハープシコードの音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離したときには独特の発音があります。
F#0	ビブラフォン	広がりがあり澄んだ音色のビブラフォンの音です。左のペダルでビブラートのオン/オフを切り替えられます。
G0	パイプオルガン	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
G#0	ジャズオルガン	ジャズやロックなどでよく用いられる電気オルガンの音です。左のペダルで、ロータリースピーカーの回転の速い/遅いを切り替えられます。
A0	ストリングス	立ち上がり鋭い弦楽合奏の音です。ピアノの音に重ねても楽しめます。

音色デモ曲リスト

再生方法は、「[音色デモを再生する](#)」をご覧ください。

鍵盤	音色名	曲名	作曲者
C1	CFX グランド	リスト作曲「2つの演奏会用練習曲 (S.145 R.6)」より第1曲「森のざわめき」	F. リスト
C#1	ベーゼンドルファー	6つの小品 間奏曲 Op.118-2 イ長調	J. ブラームス
D1	モーツァルトピアノ	ソナタ 第16(15)番 八長調 K.545 第1楽章	W. A. モーツァルト
D#1	ステージエレピ	オリジナル	—
E1	DX エレピ	オリジナル	—
F1	ハープンコード	チェンバロ協奏曲 第7番 ト短調 BWV 1058 第1楽章	J. S. バッハ
F#1	ビブラフォン	オリジナル	—
G1	パイプオルガン	神のひとり子なる主キリスト (オルガン小曲集)	J. S. バッハ
G#1	ジャズオルガン	オリジナル	—
A1	ストリングス	オリジナル	—

*「オリジナル」は、ヤマハのオリジナル曲です (© Yamaha Corporation)。「オリジナル」以外のデモ曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

内蔵曲リスト

再生方法は、「[内蔵曲を再生する](#)」または「[プレイリストの曲を再生する](#)」をご覧ください。

[曲の再生順の設定](#)が「曲順再生」のときは、曲 No. の順で再生されます。ただし、「モーニング」または「イブニング」のプレイリストでは、下記リスト内の各列にある番号順で再生されます。

内蔵曲				プレイリスト				
鍵盤	曲No.	曲名	作曲者	クラシック	ポップス	イベント	モーニング	イブニング
C2	1	巡礼の年 第1年「スイス」「泉のほとりで」	F. リスト	○				
C#2	2	夢想	C. A. ドビュッシー	○				1
D2	3	ピアノ ソナタ 第14番「月光」第1楽章 op.27-2	L. v. ベートーヴェン	○				2
D#2	4	春の歌 op.62-6	J. L. F. メンデルスゾーン	○			8	
E2	5	練習曲「別れの曲」 op.10-3	F. F. ショパン	○				
F2	6	ピアノ ソナタ 第5番 第1楽章 K.283	W. A. モーツァルト	○			9	
F#2	7	エリーゼのために	L. v. ベートーヴェン	○				
G2	8	森のスケッチ 野ばらに寄す op.51-1	E. A. マクダウェル	○				3
G#2	9	夜想曲 第2番 op.9-2	F. F. ショパン	○				4
A2	10	ジムノペディ 第1番	E. サティ	○				5
A#2	11	ワルツ 第7番 op.64-2	F. F. ショパン	○				
B2	12	ユモレスク op.101-7	A. ドヴォルザーク	○			10	
C3	13	愛のあいさつ op.12	E. エルガー	○			11	
C#3	14	月の光	C. A. ドビュッシー	○				13
D3	15	ピアノ・ソナタ 第8番「悲愴」第1楽章	L. v. ベートーヴェン	○				
D#3	16	カノン	J. パッヘルベル	○				
E3	17	練習曲「エオリアン ハープ」 op.25-1	F. F. ショパン	○				
F3	18	亜麻色の髪の乙女	C. A. ドビュッシー	○			12	14
F#3	19	ワルツ 第10番 op.69-2	F. F. ショパン	○				
G3	20	スペイン タンゴ op.165-2	I. アルベニス	○				
G#3	21	子供の情景 トロイメライ op.15-7	R. シューマン	○				15
A3	22	ジュ・トゥ・ヴ	E. サティ	○			13	
A#3	23	夜想曲 第1番 op.9-1	F. F. ショパン	○				16
B3	24	亡き王女のためのパヴァーヌ	M. ラヴェル	○				17
C4	25	ゴルトベルク変奏曲 アリア BWV.988	J. S. バッハ	○				18
C#4	26	アラベスク 第1番	C. A. ドビュッシー	○			14	
D4	27	ラ・カンパネラ	F. リスト	○				
D#4	28	クーブランの墓 メヌエット	M. ラヴェル	○				
E4	29	コンソレーション 第3番	F. リスト	○				19
F4	30	ボロディン風に	M. ラヴェル	○				

内蔵曲				プレイリスト				
鍵盤	曲No.	曲名	作曲者	クラシック	ポップス	イベント	モーニング	イブニング
F#4	31	マイ ファニー ヴァレンタイン	リチャード ロジャース		○			10
G4	32	モナ リザ	ジェイ リビングストン / レイ エバンズ		○			11
G#4	33	私のお気に入り	リチャード ロジャース		○			
A4	34	いつか王子様が	フランク チャーチル		○		5	
A#4	35	テイク ファイブ	ポール デスモンド		○		6	
B4	36	ワルツ フォー デビイ	ビル エバンス / ジーン リーズ		○			
C5	37	ベサメムーチョ	コンスエロ ベラスケス		○			
C#5	38	ラブソディー イン ブルー	ジョージ ガーシュウィン		○			
D5	39	ノルウェーの森	ジョン レノン / ポール マッカートニー		○			12
D#5	40	ヘイ ジュード	ジョン レノン / ポール マッカートニー		○		7	
E5	41	Lemon	米津 玄師		○			6
F5	42	ハナミズキ	マシコ タツロウ		○		4	
F#5	43	奏 (かなで)	大橋 卓弥 / 常田 真太郎		○			
G5	44	さくら (独唱)	森山 直太郎		○			
G#5	45	夜空ノムコウ	川村 結花		○			7
A5	46	春よ、来い	松任谷 由実		○			
A#5	47	糸	中島 みゆき		○			
B5	48	少年時代	井上 陽水 / 平井 夏美		○			8
C6	49	ピアノ・マン	ビリー ジョエル		○		3	
C#6	50	ユー・レイズ・ミー・アップ	ロルフ ラヴランド		○			
D6	51	美女と野獣	アラン メンケン		○		2	
D#6	52	戦場のメリークリスマス	坂本 龍一		○			9
E6	53	あこがれ / 愛	ジョージ ウィンストン		○			
F6	54	渚のアデリーヌ	ポール デセネバル		○		1	
F#6	55	クリスマス・イブ	山下 達郎			○		
G6	56	おめでとうクリスマス	トラディショナル			○		
G#6	57	ホワイト クリスマス	アーヴィング バーリン			○		
A6	58	もろびとこぞりて	トラディショナル / ジム ブリックマン			○		
A#6	59	きよしこの夜	トラディショナル			○		
B6	60	ハッピー バースデー トゥー ユー	トラディショナル			○		

困ったときは

ヤマハウェブサイトの「[よくあるお問い合わせ \(Q&A\)](#)」もご確認ください。

現象	原因と解決法
電源が入らない。	電源アダプター や電源コードが正しく接続されていません。アダプターとプラグを確実に差し込んでください。
電源が勝手に切れる。	オートパワーオフ機能 が働いたためです。必要に応じてオートパワーオフ機能を解除してください。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
楽器から雑音が出る。	楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。携帯電話の電源を切るか、携帯電話を楽器から離れたところで使ってください。
スマートデバイスと楽器を一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドホンから雑音(ノイズ)が出る。	スマートデバイスと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、スマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。楽器と Bluetooth で接続するときは、スマートデバイスの Bluetooth の設定がオンになっていることを確認してください。
音量を上げてまったく音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドホンが接続されています。ヘッドホンのプラグを抜いてください。変換プラグを使っている場合は変換プラグも抜いてください。 • スピーカーの設定が「オフ」になっています。「標準」または「オン」に設定してください。
ヘッドホンを [PHONES] 端子に差ししてもスピーカーから音が出る。	スピーカーの設定 が「オン」になっています。「標準」に設定してください。
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが [TO PEDAL] 端子 にしっかり差し込まれていません。本体の電源を切った状態で、ペダルコードのプラグを [TO PEDAL] 端子に確実に差し込んでください。その際、プラグの金属部分が見えなくなるまで、しっかり差し込んでください。
ボタンを押しても動作しない。	スマートピアニスト との接続中は、楽器上では操作できません。スマートピアニストを使って楽器を操作してください。スマートピアニストとの接続を解除するには、スマートピアニストを閉じるか、楽器の [B](設定) ボタンを押します。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。異常ではありません。
トランスポーズしたときに、高い方や低い方の音がおかしい。	トランスポーズの設定 をしたときに、発音できる音域は C-2 ~ G8 です。C-2 より低くなる音は 1 オクターブ上の音で、G8 より高くなる音は 1 オクターブ下の音で鳴ります。
Bluetooth 対応のオーディオ再生機器とペアリングまたは接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 接続するオーディオ再生機器と、この楽器両方の Bluetooth 機能をオンにしてください。それでも接続できない場合はペアリングし直してください。 • 2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの(電子レンジ、無線 LAN 機器など)が近くにある場合は、電磁波を発するものからこの楽器を離してください。
USB フラッシュメモリーが動作しない。	USB フラッシュメモリーを [USB TO DEVICE] 端子から抜き、楽器の電源を入れ直してください。
USB フラッシュメモリー内の曲が再生されない。	曲データが適切な場所に保存されていません。詳しくは、「 USB フラッシュメモリー内の曲を再生する 」をご確認ください。

現象	原因と解決法
<p>[♪](曲) ボタンのランプが点滅して曲が再生されない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • USB フラッシュメモリーのデータの読み込み中です。しばらく待ってから操作してください。 • USB フラッシュメモリーが接続されていない状態で、USB フラッシュメモリーの曲を再生しようとしています。または、再生可能なファイルが USB フラッシュメモリー内にありません。「USB フラッシュメモリー内の曲を再生する」を確認し、再生可能なファイルをご用意ください。 • 再生しようとした USB フラッシュメモリー内の曲のファイル名が長すぎます。ファイル名は 48 文字以下にしてください。 • 上記を試しても同じ現象が起こる場合は、USB フラッシュメモリーまたは曲データが壊れている可能性があります。USB フラッシュメモリーは、サポート・お問い合わせ「資料 / データ」で動作確認済みのものを確認して使うことをおすすめします。

用語解説

専門用語を説明しています。

用語	説明
GM システムレベル 2 	「GM システムレベル 1*」を、さらに表現力を高める機能にまで拡張した音源フォーマットです。多くの MIDI 機器が GM システムレベル 1 に対応しており、市販のミュージックデータの多くが GM システムレベル 1 で作られています。GM システムレベル 2 に対応した MIDI 機器では、GM システムレベル 1 で制作されたミュージックデータも再生できます。 * メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音色配列や MIDI 機能に関する音源フォーマットです。
GS 	ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハの XG フォーマットと同様、GM システムレベル 1 の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。
IAC (Intelligent Acoustic Control/ インテリジェント・アコースティック・コントロール)	IAC とは、楽器の全体音量の大小に応じて、自動的にスピーカーやヘッドホンの音質を補正する機能です。音量が小さい場合でも、低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。特にヘッドホン使用時には、全体音量を過度に上げることなく、耳への負担を抑えることができます。
MIDI (ミディ)	楽器同士を接続して、「演奏情報」をやりとりするための規格です。鍵盤やペダルを押す / 離すといった演奏の動き、つまり「どのように弾いたのか」というのが「演奏情報」です。この演奏情報 (MIDI データ) を保存したファイルを楽器で再生すると、記録されたデータに基づいて、楽器に搭載された音色が鳴ります。データに音そのものが記録されているわけではありません。演奏した音そのものを録音したオーディオデータに比べてデータ容量が小さく、編集しやすいのが特徴です。 市販の MIDI データを スマートピアニスト に取り込むと、曲の右手 / 左手パートを別々に再生したり、指定した区間をくり返し再生したりできるので練習に便利です。
USB オーディオインターフェース	USB ケーブルを使って、 コンピューター や スマートデバイス などのオーディオ機器を [USB TO HOST] 端子に接続することで、オーディオデータをデジタルで送受信する機能です。[AUX IN] 端子での接続と比べて、音質の劣化が少なくクリアな音質で楽しめます。また、録音ソフトや音楽制作ソフトを使って、楽器の演奏をオーディオデータとして録音できます。
VRM (Virtual Resonance Modeling/ バーチャル・レゾナンス・モデリング)	グランドピアノの共鳴音は、ダンパーペダルを踏んだときに、弾いた鍵盤の弦の振動がほかの弦や響板へ伝わることで生まれます。この複雑に影響し合う弦や響板などの状態をシミュレートし、それをリアルに再現することで、グランドピアノならではの響きを作り出す技術が VRM です。鍵盤を押さえるタイミングやペダルを踏むタイミングと深さに応じて、より多彩な演奏表現が可能になります。 「CFX グランド」または「ベーゼンドルファー」の 音色 を選んだときに VRM の効果がかかります。
XG 	「GM システムレベル 1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットです。このフォーマットで制作されたデータは、広く普及している XG 対応機器や PC ソフトウェアで再生できます。
オーディオ (オーディオデータ)	音声データです。オーディオファイルは、ボイスレコーダーなどを使って録音するのと同じしくみで、演奏した音そのものを記録したデータです。この楽器では、 USB フラッシュメモリー に保存したオーディオファイル (WAV 形式) を再生できます。または、スマートフォンなどの オーディオ再生機器 を接続して、接続した機器での再生音をこの楽器から鳴らせます。
グランド・エクスプレッション・モデリング	アコースティックピアノでは、鍵盤を押してから離すまでのタッチを変えることにより、音を微妙に変化させることができます。たとえば、鍵盤を底までしっかり押せば、鍵盤が棚板 (鍵盤下の板) に当たってコツンと鳴り、その衝撃が弦に伝わって音がわずかに変化します。また、音が消える寸前 (ダンパーが弦に触れる瞬間) の音も、鍵盤から指を離す速さにより微妙に変化します。このようなタッチによる音の微妙な違いを再現する技術がグランド・エクスプレッション・モデリングです。強めのタッチでアクセントを付けたり、やわらかなタッチで輝かしい響きを付けたり、と多彩な音色を奏することができます。また、スタッカートで弾いたときには歯切れのいい音を、ゆっくり指を離れたときには長く余韻を残す音を表現できます。
ステレオフォニックオプティマイザー	ヘッドホン使用時に自然な音の広がりを再現するエフェクトです。「 バイノーラル 」の設定がオンの場合、「ベーゼンドルファー」の 音色 が選ばれているときにヘッドホンを接続すると、ステレオフォニックオプティマイザーがかかります。

用語	説明
ハーフペダル	付属のペダルユニットの右のペダル (ダンパーペダル) には、ハーフペダル機能を搭載しています。ペダルの踏み加減で音の伸び具合を調節できる機能です。ペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える (音の濁りを減らす) ことができます。
バイノーラルサンプリング	演奏者の耳と同じ位置に専用のマイクを備え付け、聞こえてくるピアノの音をそのままサンプリングする方式です。ヘッドホンを通して聞いても、あたかもピアノ本体から音が響いてくるような臨場感をお楽しみいただけます。「 バイノーラル 」の設定がオンの場合、「CFX グランド」の音色が選ばれているときにヘッドホンを接続すると、バイノーラルサンプリングの音に切り替わります。

仕様一覧

T01		
品名	電子ピアノ	
サイズ/質量		
寸法 (幅×高さ×奥行き)	本体 (譜面立てを除く): 1,351 mm × 769 mm × 359 mm 本体 (譜面立てを含む): 1,351 mm × 942 mm × 363 mm 椅子 : 560 mm × 480 ~ 560 mm × 312 mm ペダルユニット : 330 mm × 104 mm × 180 mm	
質量	本体 : 31.9 kg 譜面立て : 1.2 kg 椅子 : 11.9 kg ペダルユニット : 2.9 kg	
操作子		
鍵盤	鍵盤数	88
	鍵盤種	グランドタッチ - エス™鍵盤、グラナディラ WFM(木質流動成形)、エスケープメント付き
	タッチ感度	ハード、ミディアム、ソフト、固定
ペダル	ペダル数	3: ダンパー (ハーフペダル対応)、ソステヌート、ソフト * 付属のペダルユニットを使用
音源/音色		
音源	ピアノ音	ヤマハ CFX サンプリリング、ベーゼンドルファー インペリアルサンプリリング
	バイノーラルサンプリリング	○ (「CFX グランド」のみ)
ピアノ音源の効果	VRM (バーチャル・レゾナンス・モデリング)	○
	グランド・エクスプレッション・モデリング	○
最大同時発音数	256	
プリセット	音色数	10
対応フォーマット	XG (GM)、GS、GM2 * すべて再生専用	
効果		
タイプ	リバーブ	7 種類
	インテリジェント・アコースティック・コントロール (IAC)	○
	ステレオフォニック オプティマイザー	○
ファンクション	デュアル	○
再生		
プリセット	内蔵曲数	ピアノ曲 (クラシック、ポップス、イベント) 60 + 音色デモ 10
対応フォーマット	SMF (フォーマット 0、フォーマット 1)、WAV (44.1 kHz、16 ビット、ステレオ)	
ファンクション		
トランスポーズ	- 6 ~ 0 ~ +6	
チューニング	414.8 ~ 440.0 ~ 466.8 Hz (約 0.2 Hz 単位)	
USB オーディオインターフェース機能	44.1 kHz、24 ビット、ステレオ	

Bluetooth 接続	オーディオ	対応プロファイル: A2DP、対応コーデック: SBC
	MIDI	Bluetooth Low Energy MIDI Specification に準拠
	Bluetooth バージョン	5.0
	無線出力	Bluetooth Class 2
	最大通信距離	約 10 m
	無線周波数	2,401 ~ 2,481 MHz
	最大出力電力	4 dBm
	変調方式	GFSK

メモリー/接続端子

メモリー	外付けメモリー	USB フラッシュメモリー
接続端子	ヘッドホン	ステレオ標準フォン端子 (× 2)
	AUX IN	ステレオミニ端子
	AUX OUT	標準フォン端子 (L/L+R、R)
	USB TO DEVICE	Type A 端子
	USB TO HOST	Type C 端子
	DC IN	16 V
	ペダルユニット	○

音響

アンプ出力	(20 W + 6 W) × 2
スピーカー	((12 cm × 6 cm) + 2.5 cm (ドーム型)) × 2

電源部

電源アダプター	PA-300C (出力: DC 16 V、2.4 A)
消費電力	18 W

付属品

- クイックガイド (兼保証書)
- セーフティーガイド
- 製品登録のご案内
- 譜面立て
- 椅子
- ペダルユニット
- 電源コード / 電源アダプター (PA-300C)

別売品

- ヘッドホン: HPH-150、HPH-100、HPH-50
- ペダルユニット: FC35
- 電源アダプター: PA-300C

